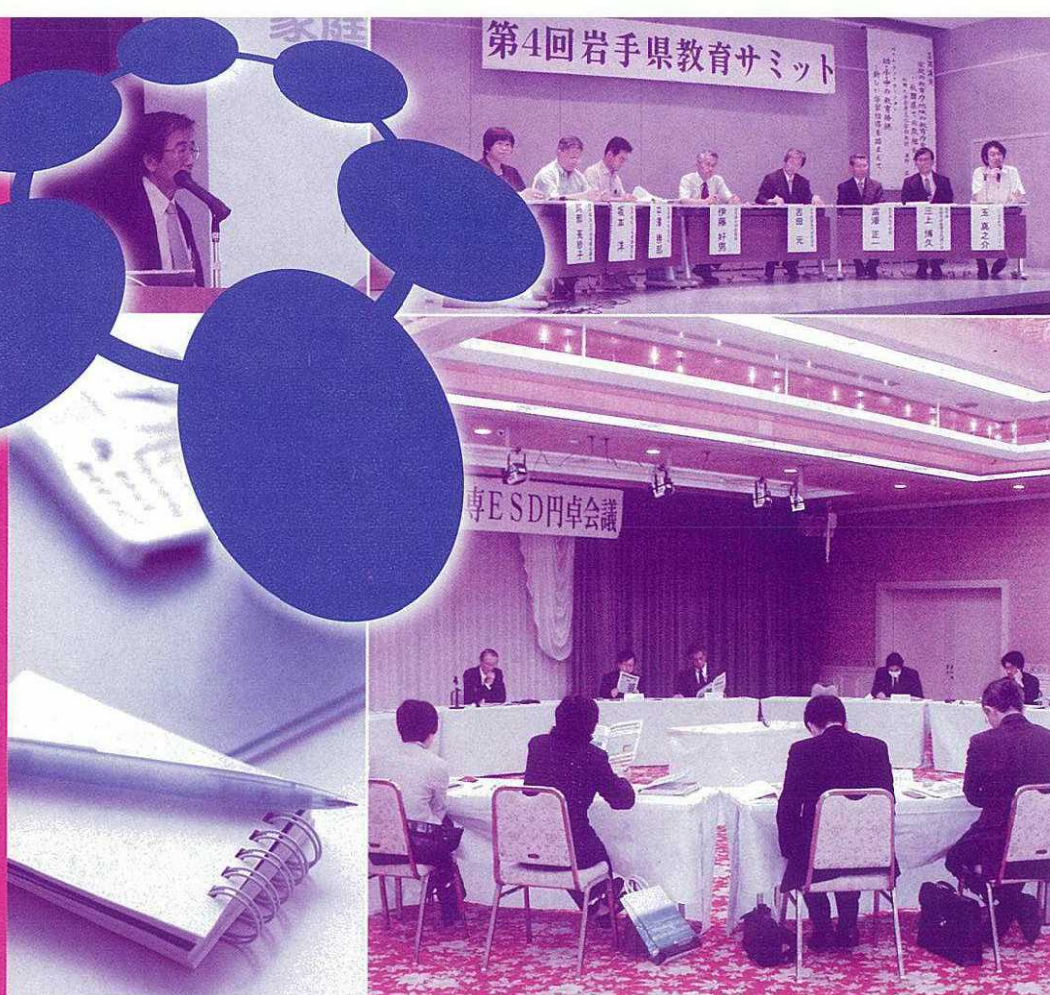


# 第5回

# 岩手県幼小中高大専 ESD円卓会議 【ご案内】



岩手県幼小中高大専ESD円卓会議(以下、円卓会議)は平成20年7月5日開催の「岩手県幼小中高大専ESDサミット」で設立されました。以来、校種・公私を越えた講演会・パネルディスカッションの開催や、「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動」、さらに政策提言などに取り組んできました。

第5回円卓会議の第1部ディスカッションでは、第4回教育サミットのパネルディスカッションを引き継いで、小・中・高の教育接続について、葛巻町教育委員会からの話題提供を受けて議論します。第2部円卓会議総会では、円卓会議の在り方や来年度の取組について話し合います。

ご関心をお持ちの皆様の幅広いご参加をお待ちしています。

- |              |  |
|--------------|--|
| <b>日 時</b>   | 平成23年1月8日(土) 15:00~17:00   |
| <b>場 所</b>   | サンセール盛岡 盛岡市志家町1-10 TEL.019-651-3322  |
| <b>参 加 者</b> | 円卓会議委員：構成団体の代表者(各2名)<br>自由参加者：学生、教職員、一般市民  |
| <b>内 容</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●開会 ..... 15:00</li> <li>●第1部:ディスカッション:校種間の教育接続(その2) .... 15:05~16:30<br/>小・中・高の教育接続 ー葛巻における取組を例にー</li> <li>●第2部:円卓会議総会 ..... 16:30~16:55             <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 円卓会議要項の改正について</li> <li>2. 2011年度の共同行動について</li> <li>3. 第6回教育サミットについて</li> <li>4. その他</li> </ul> </li> <li>●閉会行事 ..... 16:55</li> </ul> |
| <b>交流懇親会</b> | ●17:15~18:30 ●会費/3,500円<br>参加自由ですが、事前申込が必要です。会費は、当日受付で申し受けます。<br>【申し込み先】岩手大学学務部学務課 木村隆行 TEL.019-621-6091   |

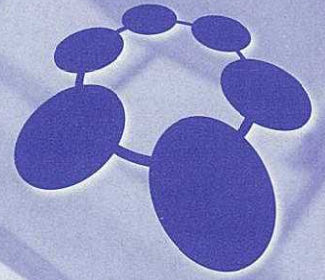
## お問い合わせ

## 岩手県幼小中高大専ESD円卓会議 事務局

岩手大学 学務部学務課全学共通教育グループ  
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18-34 TEL.019-621-6091

<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/>  
ESD円卓会議

- 岩手県国公立幼稚園協議会
- (社)岩手県私立幼稚園連合会
- 岩手県小学校長会
- 岩手県中学校長会
- 岩手県高等学校長協会
- (社)岩手県私学協会
- いわて高等教育コンソーシアム
- (社)岩手県専修学校各種学校連合会



# 「希望郷いわて」の実現を教育から!

## —第4回岩手県教育サミット宣言—

岩手の子どもたちに未来への希望を与え、持続可能な地域と世界を創るために、「教育の連携」が重要となっています。私たちは、この共通の想いに立って、幼稚園から小・中・高等学校、高専・大学、専門学校まで校種・公私立を越えて集まりました。

岩手県は、昨年度、10年後に実現したい岩手の姿を「いわて県民計画」としてまとめました。この計画では、県民一人ひとりが岩手の未来づくりの主役となって、みんなの力で「希望郷いわて」を創って行くことが目指されています。

岩手県は、グローバル化や人口減少・少子高齢化といった大きな社会変化のまっただ中にあります。こうした社会変化は、何よりも岩手県民にとって本当の「ゆたかさ」とは何かを問い直すことを強く求めています。

グローバル化した21世紀だからこそ、岩手の地に培われた豊かな自然や歴史・文化、あるいは安全・安心の暮らしなどの本当の価値が見える時代となってきました。それを大切に育む取組に、県民一人ひとりが力を合わせる事ができるかどうか、岩手の未来はかかっています。その意味からも、岩手の未来を担う子どもたちの教育は重要です。

私たち岩手県幼小中高大専ESD円卓会議は、平泉や賢治等の世界に誇る地域の価値を大切にして、校種・公私立を越えて連携・協力していくために、2008年に設立されました。以来、グローバルな課題であるCO<sub>2</sub>削減へ向けた取組や、学力(認識・思考・判断)の基礎・基本となる「言葉の力」の重要性を共通の課題として対話や取組を行ってきました。

昨年に続いて今年も取り組んだ「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動」も、そうした目標の共有を具体的に行動と成果として示すための取組です。こうした取組を進めながら、私たちは校種間の対話と相互理解を深めて、教育の接続を図ることが重要と考え、今回のサミットを開催しました。そして、改めて家庭と地域にしっかりと立脚して、校種間の連携と協力を進めることが重要であると確認しました。

「いわて県民計画」は、計画を進める視点として、「ゆたかさ」を育む、「つながり」を育む、「ひと」を育むの3つを提示しています。これはまさに、本当の「ゆたかさ」を問い直し、校種・公私立を越えた連携・協力を、家庭と地域とともに進めて、岩手の未来を担う子どもたちを育てるという課題と重なっています。

私たち岩手県幼小中高大専ESD円卓会議は、「希望郷いわて」の実現にとって教育が担っている役割の大きさを改めて自覚して、今後も共同行動と対話・連携に取り組んでいきます。